

第6回 よこはま地域福祉フォーラム



ほら、
よこはまは
あったかい

変わりゆく日常でも よりそえるまちへ

～つながり、^{リスタート}再始動～

開催要綱

私たちのまち横浜では、普段の暮らしの中で様々な見守り、支えあい活動が育まれてきました。こうした活動を広く共有することで取組の輪を広げ、困りごとを受け止め支えあえる地域をめざしていこうという思いから始まった「よこはま地域福祉フォーラム」は、今年で6回目を迎えます。

令和2年初頭から感染拡大がはじまった新型コロナウイルス感染症は、私たちの日々の暮らしや地域の活動に、大きな影響を及ぼしました。直接的に顔を合わせ、つながることが難しくなり、多くの活動が休止を余儀なくされました。活動を通して育まれてきたゆるやかな見守りの機会が減少し、一人ひとりの困りごとが見えにくくなる中で、活動の再開、見守り支えあう取組への不安や葛藤等様々な想いが交錯していたと思います。

こうした中、時間をかけて地域に根付いてきた住民の想いや活動は、様々な創意工夫のもと、今できる形での活動の再開、新たなつながりで課題に向き合う取組など、少しずつ広がりをみせはじめています。

本フォーラムを通じて、これまで地域の中で取り組まれてきた活動への想いや意味を改めて見つめなおし、「つながりの中にある豊かさ」を再確認することで、これからも身近な地域の中で寄り添い支えあうために私たちに何ができるのか、皆さんと一緒に考えていきます。

配
信
期
間

令和3年 9月24日(金) ~ 12月24日(金)

内
容

全体会（基調講演）

「つながり続ける地域づくりのために」

むろた しんいち

室田 信一 氏（東京都立大学 准教授）

分科会

分科会1 このまちで、つながりつづける

分科会2 一人ひとりに寄り添う、想いを紡ぐ

参加
無料

開
催
方
法

You Tube による録画配信

お申込みをいただいた方には、
後日メールにて受講用URLをお送りいたします。

【主催】横浜市社会福祉協議会 ・ 18区社会福祉協議会

【共催】横浜市健康福祉局 ・ 横浜市子ども青少年局

(YouTube録画配信用)

つながり続ける

地域づくりのために

むろた しんいち

東京都立大学 准教授

室田 信一 氏



地域の中には様々な見守り・支えあいや小さなつながりがあり、日々の暮らしの中に“安心”や“豊かさ”をもたらしてくれています。コロナ禍により、そうした地域の中で営まれてきた活動も大きな影響を受け、今一人ひとりがつながることの意味を問われています。

私たちは何を大切に、同じ地域に住む住民として何ができるのでしょうか。つながりのカタチはひとつではなく、地域活動とは自由でしなやかなものです。

これまで営まれてきた取組にどのような意味があったのか、またコロナ禍においてもつながり続けるための工夫、そして、これからのつながりを考えるヒントについてご講演をいただきます。

【講師プロフィール】

東京都立大学 人文社会学部 准教授。

専門は地域福祉の実践研究やコミュニティ・オーガナイズィング、アクション・リサーチなど。

東京都練馬区出身。アメリカの大学・大学院でソーシャルワークを学び、ニューヨーク市内のNPOでコミュニティ・オーガナイザーとして勤務。日本帰国後に同志社大学で博士号(社会福祉学)を取得。

大阪のNPOでコミュニティソーシャルワーカーとして勤務後、2012年より現職。

厚生労働省「地域共生社会に向けた包括的支援と多様な参加・協働の推進に関する検討会」、内閣府「子供の未来応援基金事業審査委員会」等の委員を務める。

主な著書に『共生社会創造におけるソーシャルワークの役割-地域福祉実践の挑戦』(分担執筆)など多数。

このまちで、つながりつづける

人と人がつながりづらいつながり状況の中でも、想いを絶やさず、新たな形での活動の再開や助けあいの土壌づくりに向けた取組が生まれています。つながり続けるための工夫や大切にすべきポイントについて共有します。

コーディネーター： 東京都立大学 人文社会学部人間社会学科 准教授 室田 信一 氏

実践報告：
 ● 東山田地区社会福祉協議会・東山田地域ケアプラザ・都筑区社会福祉協議会（都筑区）
 ● 下和泉八日会・下和泉地域ケアプラザ（泉区）
 ● 永谷地区社会福祉協議会・特別養護老人ホーム日野サザンポート・港南区社会福祉協議会（港南区）

東山田地区社協
東山田地域ケアプラザ
都筑区社協

みんなで考える『場』は 地区社協が作る

『ちょっと立ち寄れる場』として身近な地域ごとに開催されてきたカフェ。

コロナ禍で全ての活動が休止される中、分かれる意見や想いを受けて地区社協とケアプラザが『場の再開』に動き出す。『みんなで考える場』に込めた思いとは。コロナ禍だからこそ立ち止まり、考え、共有する大切さを紐解く。

下和泉八日会
下和泉地域ケアプラザ

かたちを変えて絆を紡ぐ ～下和泉八日会の取組～

手づくりの食事を楽しむ高齢者向けの昼食会。一時は休会を余儀なくされるが、担い手と参加者の想い、人と人が関わる機会を持つことの意味を再確認しながら新しい形を生み出した。形を変えてつながり続ける工夫やコロナ禍での取組を通じた新たな気づきとは。

永谷地区社協
特別養護老人ホーム日野サザンポート
港南区社協

まちにあふれる「良き相棒」 ～小地域から区域へ… コロナ禍でも広がる可能性～

地区社協を中心に立ち上げた福祉施設連絡会。住民と身近な福祉施設が“地域づくり”に向けて話し合う中で、それぞれの思いをつなぐ『まちの給水所』が生まれ、取組が区域へと展開された。住民と施設・企業等が地域の仲間として認め支えあう取組がもたらす効果とは。コロナ禍でも継続した活動につながるポイントを探る。

一人ひとりに寄り添う、想いを紡ぐ

地域において様々な主体がつながり、困りごとを受け止め、孤立した人たちに支援が届く取組が積み重ねられています。地域にある課題を見逃さないポイントと支援のプロセスを通じた連携の可能性について考えます。

コーディネーター： 同志社大学 社会学部社会福祉学科 教授 永田 祐 氏

実践報告：
 ● 新桜ヶ丘団地・今井地域ケアプラザ・保土ヶ谷区社会福祉協議会（保土ヶ谷区）
 ● 竹山地区社会福祉協議会・鴨居地域ケアプラザ・緑区社会福祉協議会（緑区）
 ● 旭区民生委員児童委員協議会・JA横浜・旭区社会福祉協議会（旭区）

新桜ヶ丘団地
今井地域ケアプラザ
保土ヶ谷区社協

団地住民の 「ゆるやかな見守り」活動 ～支えあいグループの取組～

「このようなことは二度と起こしたくない」。団地内での孤独死をきっかけに結成された支えあいグループ。日常生活の中で気になる人や気づいた事の共有から取組を始め、徐々につながりの輪が広がり、見守りの意識が高まっていく。住民の想いとプロセスを紐解いていく。

竹山地区社協
鴨居地域ケアプラザ
緑区社協

コロナ禍でもつながり続ける ～「認知症カフェぶらり」の 新たなチャレンジ～

高齢化率40%を超える団地で、認知症の妻を介護する男性。相談を受けた地区社協は、安心して通える場を作ろうと『認知症カフェぶらり』を立ち上げた。コロナ禍で活動が休止する中でも、つながりを途絶えさせないために、新たなチャレンジを始める。つながり続けるための活動の工夫と住民の想いに迫る。

旭区民生委員児童委員協議会
JA横浜
旭区社協

誰も孤立させないまち “旭区”を目指して ～野菜提供を通じたつながりづくり～

コロナ禍で区社協への相談から見えた『孤立』という課題。地域と共有すると、住民は「自分達にも出来ることはないか」と話し合いを重ねながら、食を通じたつながりづくりを始めた。区域での取組は、やがて身近なエリアへと展開していく。孤立しがちな人と新たなつながりを築く中で見えてきたものとは。

お申込み

下記URL または、右の二次元コードからお申込みください
後日、Eメールにて受講用URLをお送りいたします。

● 第6回よこはま地域福祉フォーラム申込フォーム

URL: <https://onl.tw/czDyk1j>



申し込みはこちら

主催	横浜市社会福祉協議会	18区社会福祉協議会		
共催	横浜市健康福祉局	横浜市子ども青少年局		
協力	神奈川県社会福祉協議会	川崎市社会福祉協議会	相模原市社会福祉協議会	
(予定)	関東学院大学	神奈川大学	鶴見大学	横浜市立大学
	公益財団法人 横浜YMCA	認定NPO法人 横浜移動サービス協議会		
	公益社団法人 神奈川県介護福祉士会	公益社団法人 神奈川県社会福祉士会		
	公益財団法人 神奈川新聞厚生文化事業団	公益財団法人 横浜市男女共同参画推進協会		
	一般社団法人 神奈川県介護支援専門員協会	横浜市市民協働推進センター		
	一般社団法人 ラシク045			

※ 文中は敬称略としています
(順不同)

〈個人情報の取扱いについて〉

参加申込書に記載された個人情報は、本フォーラムに係る企画、主催者用参加者名簿の作成・管理等、本フォーラム関連のみの目的で使用するとともに、本会「個人情報保護に関する方針」に基づき、適切に取り扱います。

(個人情報保護に関する方針 →<http://www.yokohamashakyo.jp/sisyakyo/kojin-joho.html>)

問合せ
お申込み

横浜市社会福祉協議会 企画部 企画課

TEL 045-201-2090

FAX 045-201-8385

E-mail chiikifukushi-f@yokohamashakyo.jp

<http://www.yokohamashakyo.jp/>

〒231-8482 横浜市中区桜木町1-1 横浜市健康福祉総合センター7階

※「よこはま地域福祉フォーラム」は一部共同募金の配分金で実施しています。

※ プログラム中の各表題は仮題のため変更になる場合があります。ご了承ください。

